





【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
SMB Cコンシューマーファイナンス	湊翔楠中学校第1学年	普通教室3-1(3F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「カードゲーム『お金の役割』」 J C F A (日本消費者金融協会) が作成している金融教育教材の「カードゲーム／お金の役割」を使用して、「物々交換の時代」と「物品貨幣の時代」を体験する。さらに、道具としてのお金の役割である「物を交換する」「価値をあらわす」「価値を蓄える」ことについて、カードゲームを通じて楽しみながら学ぶ。</p>		

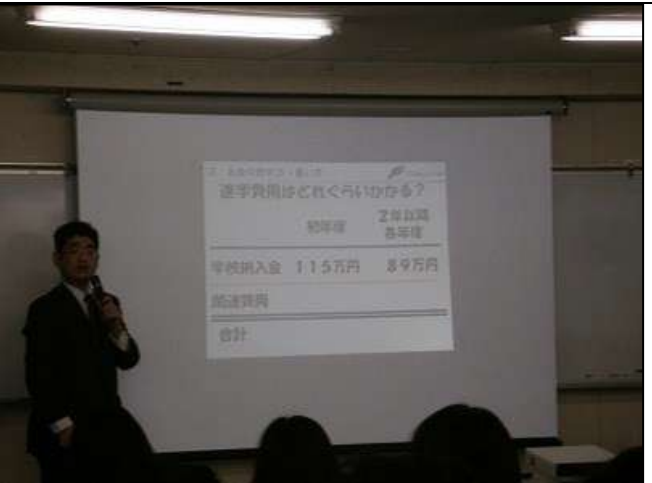
【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
消費者教育支援センター	湊翔楠中学校第1学年	普通教室3-2(3F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「身近な製品の安全を考えよう！」 中学生向け教材『製品安全ワークブック』を使用して、身近な電気製品などの使い方を振り返り、製品事故が起こる原因とその対策について考える。特に、幼児や高齢者の特性を踏まえた、消費者の誤使用や不注意を防ぐための方策や家の中での安全な住まい方について考える。</p>		


【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
花王	湊翔楠中学校第1学年	第1理科室(2F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「生活と地球環境との“調和”をめざすモノづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な衣料用洗剤を事例に、商品を作るときの原料の調達から、商品の廃棄までのCO₂の排出量がコンパクト化で減っていることを学ぶ。 ・さらなる環境への取り組みとして、洗濯すぎ時の節水を可能にした技術を「選択の流れ」「界面活性剤の役割」「新技術の内容」の順に学び、2人一組の実験でこの技術を体験する。 ・授業を通して商品を「使う、捨てる」場面でのCO₂削減は自分たちの役割であることに気づく。 		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
大阪ガス 兵庫リビング営業部	湊翔楠中学校第1学年	調理室(3F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>『『エコ・クッキング』出張授業』</p> <p>エネルギー環境教育「エコ・クッキング」は、地球環境を考えながら「買い物・調理・片付け」など食に関連する一連の行動について学ぶ実践型プログラムである。</p> <p>食べ物やエネルギーを大切にする、水を汚さない、ゴミを減らす工夫について座学と調理実習を交えて理解を深める。</p> <p>※「エコ・クッキング」は東京ガス(株)の登録商標。</p>		

<高等学校>

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
生命保険文化センター	葺合高校第2学年	研修室1（4F）
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「生命保険実学講座」</p> <p>「生命保険のしくみと役割」について、実際の授業で使用する教材「生活とリスク管理」を用いて、大学・高校で行う出前授業の様子を紹介するとともに解説する。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
日本ファイナンシャル・プランナーズ協会	葺合高校第2学年	研修室1（4F）
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「高校生のためのライフプランニング」</p> <p>社会人になり自立すると、自分自身で人生を設計しなければならない。そのために、高校生のうちに知っておきたい事、意識しておきたい事を解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何故、ライフプランニングが必要なのか、お金の知識が必要なのか？ →『人生』と『お金』と『仕事』との関係性など ・高校、もしくは大学等卒業後のライフプランとそれにかかるお金について ・ライフプランを実現するためのお金の貯め方・使い方 →Needs と Wants、意思決定の方法など 		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
全国銀行協会	葺合高校第2学年	第5会議室（4F）
【授業概要】		【授業風景】
<p>「カードゲームで生活設計を体験してみよう」</p> <p>人生には様々な選択肢があることに気づき、計画性をもって生活していく必要があることをカードゲームを通じて体感する。5人前後の班ごとに、カードを引くことで、収入・基本生活支出・結婚・子ども・住居・イベント&アクシデントとそれに伴う費用が決まり、シートに記入することで記録・計算を行う。各班に結果を発表してもらいながら、収入と支出のバランスの大切さなどについて振り返りを行う。</p>		

(3) 神戸市の取り組み公開

消費者問題解決の専門家を養成する神戸コンシューマー・スクールの4期生(24年度入学)がゼミナールの研究発表を3つのグループに分けて行った。あわせて、くらしのいきいきトークとして、消費者教育に係る講座を実施した。

① 神戸コンシューマー・スクール研究発表

テーマ	発表者	発表内容
ストレス社会におけるサプリメントとの付き合い方	大塚 里枝 川島 郁子 鈴木 寛子	ストレス社会におけるサプリメントとの付き合い方をテーマに、サプリメントはどのような時代を反映しているのかについて発表する。
SNSを使うと、旅行は、その内容を豊かにできるか?	今村 充 塩崎 美由紀 緋本 順子	「SNSを使うと、旅行は、その内容を豊かにできるか?」をテーマに、その場合、旅行を楽しく豊かにする、SNSの上手な使い方とは、について発表する。
幸せな生活とは	秋山 ひろみ 上田 明子 上代 節子	「幸せな生活とは」をテーマに、何に価値を求めるのかについて発表する。

② くらしのいきいきトーク

テーマ	講師	発表内容
今、くらしに役立つ話題	小西 宏子	日々のくらしの中で、必要な消費生活の情報について、最近話題になったことや事例を中心に、学ぶ。
表示とマーク(食品)	大伴 洋子	表示やマークを見て理解し、選ぶ手がかりにすることができるように、商品を見ながら学ぶ。
悪質商法にご用心	郡 玲子	神戸市生活情報センターに寄せられている最近の相談事例の紹介や、受講生の経験談をお聞きし、契約やクーリング・オフなどを学ぶ。
悪質商法にご用心(高齢者の見守り)	尾崎 摂津子	悪質商法の具体的な事例を交えながら紹介し、その手口や消費者トラブルの発見に結びつくような「気づき」などを学ぶ。